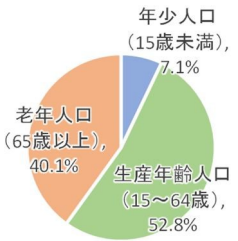
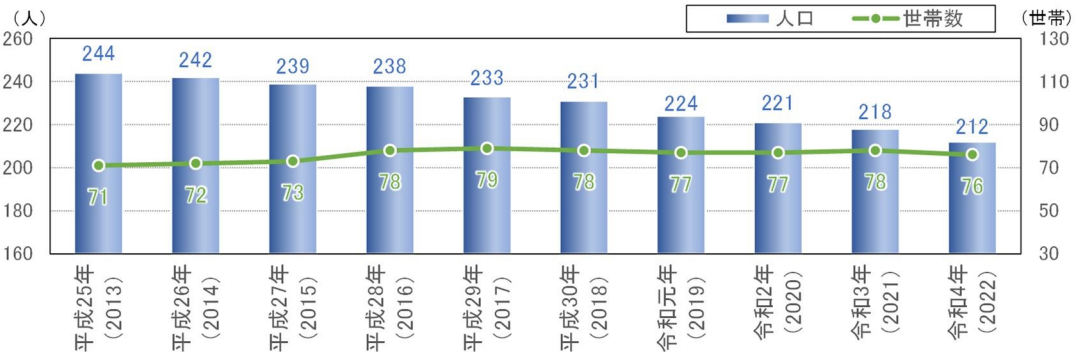


	世帯数	人口	年齢別人口	
現在	76 世帯	212 人	15 歳未満 (年少人口)	15 人
			15~64 歳 (生産年齢人口)	112 人
			65 歳以上 (老年人口)	85 人
約 50 年前	65 世帯	294 人		



10年間の推移



歴史等

古代律令制では播磨国神前郡高岡里に含まれたと考えられ、矢口遺跡からは、官人の身分を示す金銅製の帯金具や掘立柱建物の遺構がみつかり、古代の官衙に関連する施設があったとも考えられています。

中世は高岡荘に含まれたと考えられ、近世は豊臣氏の領地となった後、慶長5年(1600)からは姫路藩領となり、大庄屋組は山崎組に属しました。寛永14年(1637)に当村から桜村を分村しました。長野集落から山を300mほど上った所にある天台宗栄福寺は、元禄年間(1688~1704)にお堂が建てられ、正徳年間(1711~1715)に建立されたと伝わりますが、現在は無住となり、山門や地蔵堂、石造物、ムクロジやイチョウの大木が古からの歴史を伝えていきます。明治8年(1875)に神谷村・桜村・長野村・板坂村の4村が合併して高岡村が成立しました。なお、『兵庫県播磨国地種便覧』によると、明治14年(1881)の高岡村の戸数は188戸・人口は990人でした。高岡村は、明治22年(1889)に福崎村の大字となりました。



諏訪神社



栄福寺のムクロジ



エノキ (水神公園)



東光寺池傍 石棺蓋石 (三界万霊塔)



秋祭り・屋台



夏祭り

※現在の人口・世帯数・年齢別人口は令和4年5月末時点、10年間の人口・世帯数の推移は各年5月末時点、約50年前の人口・世帯数は昭和52年6月末時点であり、いずれも住民基本台帳による値です。なお、年齢別人口のみ外国人を含む値になっています。

歴史文化遺産一覧

分類	名称	年代	概要	歴史文化ものがたり						
				①	②	③	④	⑤	⑥	
建造物 石造物	1	三十三カ所観音(栄福寺)	不明	境内に西国三十三所札所の本尊を写した石仏が三十三基造立され、それぞれに番数と寺名、それを供養した人物などが刻まれている。				●		
	2	六斎使者之塔(東光寺池傍)	不明	正面には梵字と「六斎使者之塔 講中」の文字が記されている。				●		
	3	一字一石塔(栄福寺)	天明8年(1788)	基礎正面には「大乘妙典一字一石塚」、左右に造立年月、背面に本願主が記されており、基壇には施主等が記されている。				●		
	4	三界万霊塔(栄福寺)	元禄15年(1702)	正面には梵字と「三界万霊仏果」、右に造立年月日等、左に施主が記されている。				●		
	5	石棺蓋石(三界万霊塔)(東光寺池傍)	延享5年(1748)	家形石棺蓋石。正面には造立年月日・施主とともに、梵字と「万霊仏果」の文字が記されている。造立年月日は不明。福田墓地入口の石棺棺身とセットになる石棺蓋石。長野新池付近にあったであろう古墳から持ち出したものと考えられるが古墳は見つかっていない。				●	●	
	6	石鳥居(諏訪神社)	明治29年(1896)	石鳥居。右柱正面には「奉」の文字と造立年月、左柱正面には「納」の文字と願主が記されている。				●		
	7	石灯籠(諏訪神社)	明治19年(1886)	左右一対の石灯籠。左右ともに正面に「奉納 常夜灯」、基壇の正面に「当村氏子中」と記されている。左灯籠の背面に造立年月が記されている。				●		
	8	手水石(諏訪神社)	寛政7年(1795)	手水石。左に造立年月日が記されている。				●		
	9	狛犬(諏訪神社)	昭和4年(1929)	石造狛犬。				●		
	10	川端鶴蔵頌徳碑	大正8年(1919)	川端鶴蔵の顕彰碑(頌徳碑)。正面には「永世不朽」と記されている。				●		
	11	改築記念碑(諏訪神社)	昭和47年(1972)	神社改築を記念して建てられた石碑。				●		
	12	百度石(諏訪神社)	昭和7年(1932)	百度石。				●		
	13	六角柱状の石造遺品(栄福寺)	正徳3年(1713)	六角柱状の台座の上に下部が欠けた地藏立像が載る。二次的に載せたものと思われる。正面には「念仏 庚申 講中供養」と記されている。				●		

※歴史文化ものがたり：①学問・芸術文化のふるさと、②郷土の暮らし、③ため池・疎水と生業、④祭りと信仰、⑤人・物・情報の十字路口、⑥播磨のなかのふくさき

分類	名称	年代	概要	歴史文化ものがたり						
				①	②	③	④	⑤	⑥	
有形の民俗文化財	祭具	14	屋台（長野区）	—				●		●
無形の民俗文化財	年中行事・民俗芸能	15	秋祭り（福崎）	—			●	●		●
		16	斎灯・初護摩供	—				●		
		17	トンド	—				●		
		18	斎灯	—				●		
		19	夏まつり	—				●		
		20	盆祭り	—				●		
		遺跡	散布地・集落跡・生産遺跡等	21	長野多イ谷遺跡	中世		●		
22	下々通遺跡			中世		●				
23	矢口遺跡			奈良時代～中世		●				
24	長野諏訪神社周辺遺跡			古墳時代～中世		●				

※歴史文化ものがたり：①学問・芸術文化のふるさと、②郷土の暮らし、③ため池・疎水と生業、④祭りと信仰、⑤人・物・情報の十字路口、⑥播磨のなかのふくさき

分類	名称	年代	概要	歴史文化ものがたり						
				①	②	③	④	⑤	⑥	
動物・植物・地質鉱物 植物	25	栄福寺のムクロジ	—	栄福寺境内に位置する。夏には白っぽい花をつけ、秋に実る実は緑色から茶褐色に変わり、中には黒い実が入っている。 【町指定保存樹】		●				
	26	イチョウ(栄福寺山門脇)	—	元禄年間(1688~1704)に堂が建立され、正徳年間(1711~1716)に栄福寺が建立されたと伝わることから、1700年代に植えられ、樹齢は200~250年であると推定される。幹回りは2.3m、樹高は約35m。		●				
	27	イチョウ(栄福寺北側元屋敷付近)	—	元禄年間(1688~1704)に堂が建立され、正徳年間(1711~1716)に栄福寺が建立されたと伝わることから、1700年代に植えられ、樹齢は200~250年であると推定される。幹回りは3.5m、樹高は約45m。		●				
	28	エノキ(水神公園)	—	水上神社には水の神様が住んでいたと伝わり、そのご神木とも考えられる。幹回り4m、樹高約30~40m、枝張約30mであり、樹齢は不明。		●		●		
その他	信仰の場	29	諏訪神社	—	建御名方神を祭神とする長野区の氏神。栄福寺の僧が奉仕していた頃に寺の近くに遷座したが、明治維新の際、再び元の鎮座地である現在地に遷座した。				●	

※歴史文化ものがたり：①学問・芸術文化のふるさと、②郷土の暮らし、③ため池・疎水と生業、④祭りと信仰、⑤人・物・情報の十字路口、⑥播磨のなかのふくさき

- ・諏訪神社の境内には、ブランコや鉄棒などの遊具があり、年間を通じて自治会コミュニティの場所として利用されています。子どもから高齢者までが楽しく使用しやすいように、子供会、老人会などが定期的に清掃活動を実施しています。
- ・秋祭りののぼりや屋台の金具、提灯、布団等が老朽していたので、自治会、まつり実行委員、まつり協力会等が中心となって、区民の協力を得て修理し、現在に至っています。
- ・長野太鼓保存会を組織し、区に伝わる民俗芸能「伊勢歌」と太鼓の保存・継承推進、後継者育成に取り組んでいます。
- ・自治会、老人会、子ども会等が中心となって、諏訪神社の維持管理を実施しています。月当番による祭壇の清掃、日々の灯明番など、全区民で神社の維持管理を実施しています。また、境内の定期的な清掃活動も継続的に実施し、環境美化を図っています。
- ・自立（律）のまちづくり交付金事業では、花いっぱい運動に加え、歴史講演会の開催などの取組も実施しています。



歴史講演会（平成 28 年、演題：「高岡と長野の歴史」）